

北海道新幹線長万部駅 周辺整備について





*イメージ図記載の駅構造、デザイン及び駅周辺整備等について決定したものではありません。

*イメージ図記載の現況建物、道路等の構造、寸法は現地と異なり参考です。

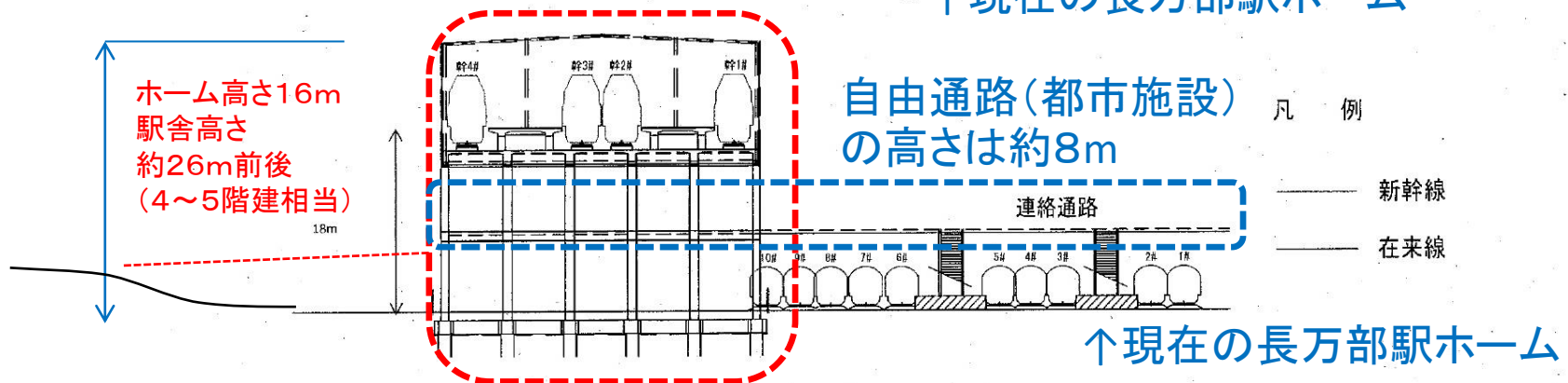
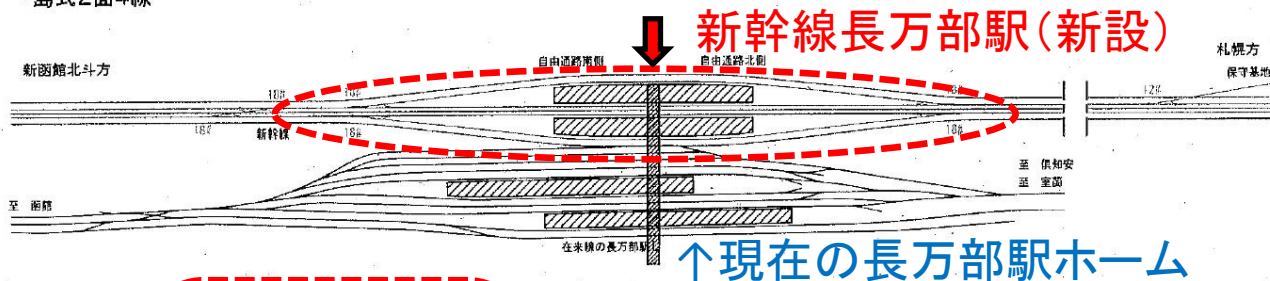


鉄道施設 新幹線長万部駅について

長万部駅の整備イメージ

※元図は鉄道運輸機構会議資料より

・島式2面4線



【特徴】1階に在来線、2階に新幹線駅、3階に新幹線ホーム
現駅舎の西側(山側)に新幹線駅を建設。

自由通路基本設計協議資料

人道橋 橋長60m
通路幅6m
通路は屋根・壁付き

高架下1階滞留空間
・昇降設備
(避難場所・風除室構造
の暖房空間を計画)

2階コンコース前床
(都市施設)

東口昇降棟
(階段・エスカレータ・EV)

4

自由通路橋 橋梁一般図
2径間案2

側面図 S=1:1000

通路断面図 S=1:100

昇降棟立面図 S=1:300 ※参考イメージ

東口

平面図 S=1:1000

設計条件

種別	人混雑
設計水平年度	地域別改正における地域区分：B2地域（北海道 山越郡）
土曜地盤	LEVEL1 KN=0.25 LEVEL2 道路幅巾方向 標準地盤
鋼材	S355K2, S460K2 M22 (S10T)
連結材	ボルト型鋼材ボルト M22 (S10T)
コンクリート	下地土 圧入率 24% w/c 40%
舗装	平舗装 200mm
適用基準	道路橋示方書・解説書 (R29.11 日本道路協会) 立体橋梁設計技術基準・解説書 (R34.1 日本道路協会) 建設省制定土木構造物標準設計第3巻 (JSS 全日本建設技術協会) 道路の移動円滑化設備ガイドライン (国土技術研究センター)
工事名	工事
計画年度	自由通路橋 橋梁一般図 (2径間案2)
作成年月日	平成 年 月
縮尺	1:1000 (A3) 図面番号 第1図
発注者	
事業者	北海道 長万部町

※駅西口広場、アクセス道路は、現在レイアウトを検討中



Oshamambe Town Hall

駅前再開発イメージパース

■長万部駅前東口広場再開発プロジェクト
Oshamanbe east exit of the station square Project 2021

B-type

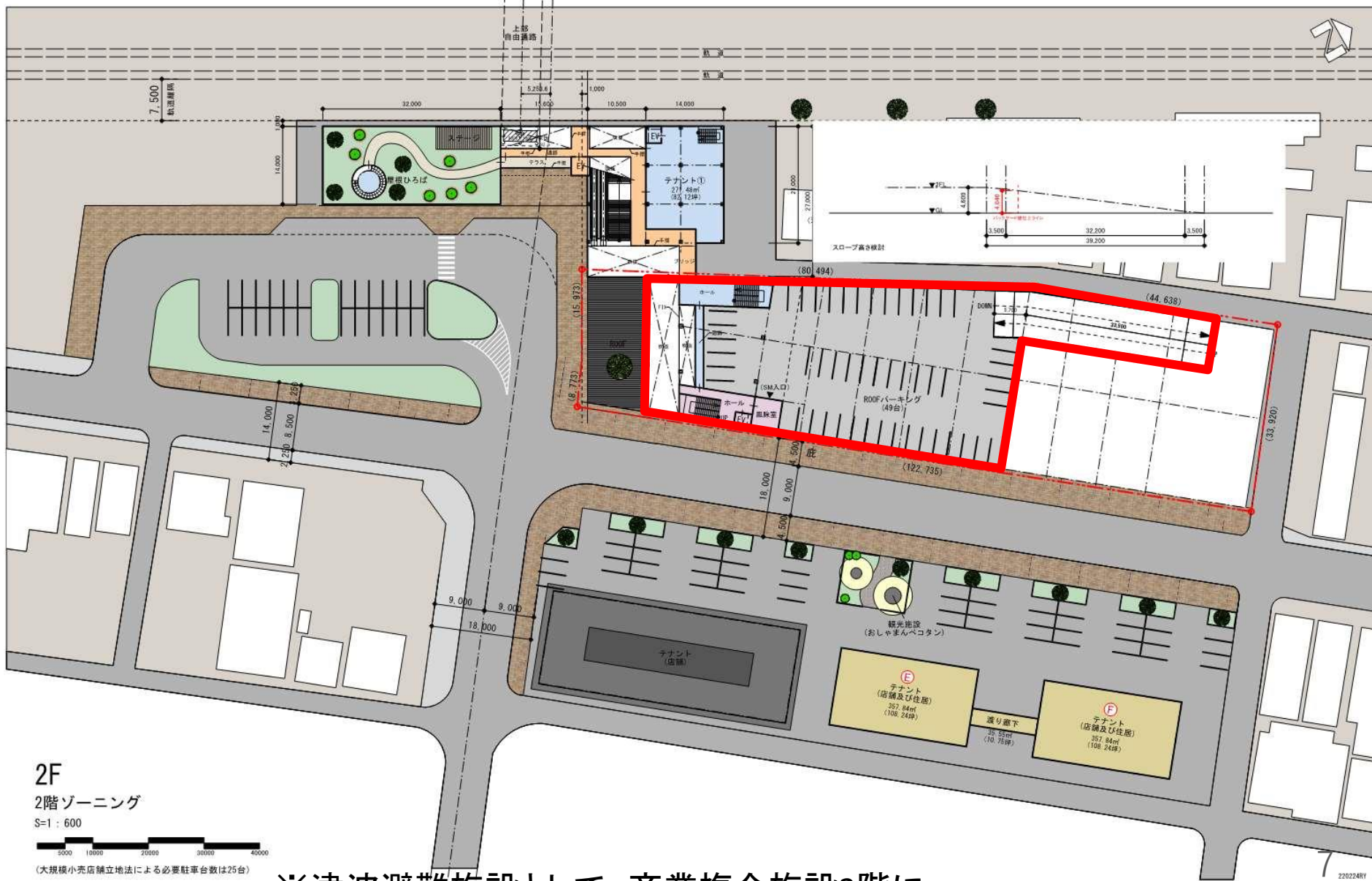
株式会社 二本柳慶一建築研究所
KEIICHI NIPPONRYUICHI ARCHITECT & ASSOCIATES



イメージパース（夏）

この資料は都市計画マスタープランのまちづくり方向性に基づき、
各施設レイアウトを検討するために作成した素案(たたき台)です。

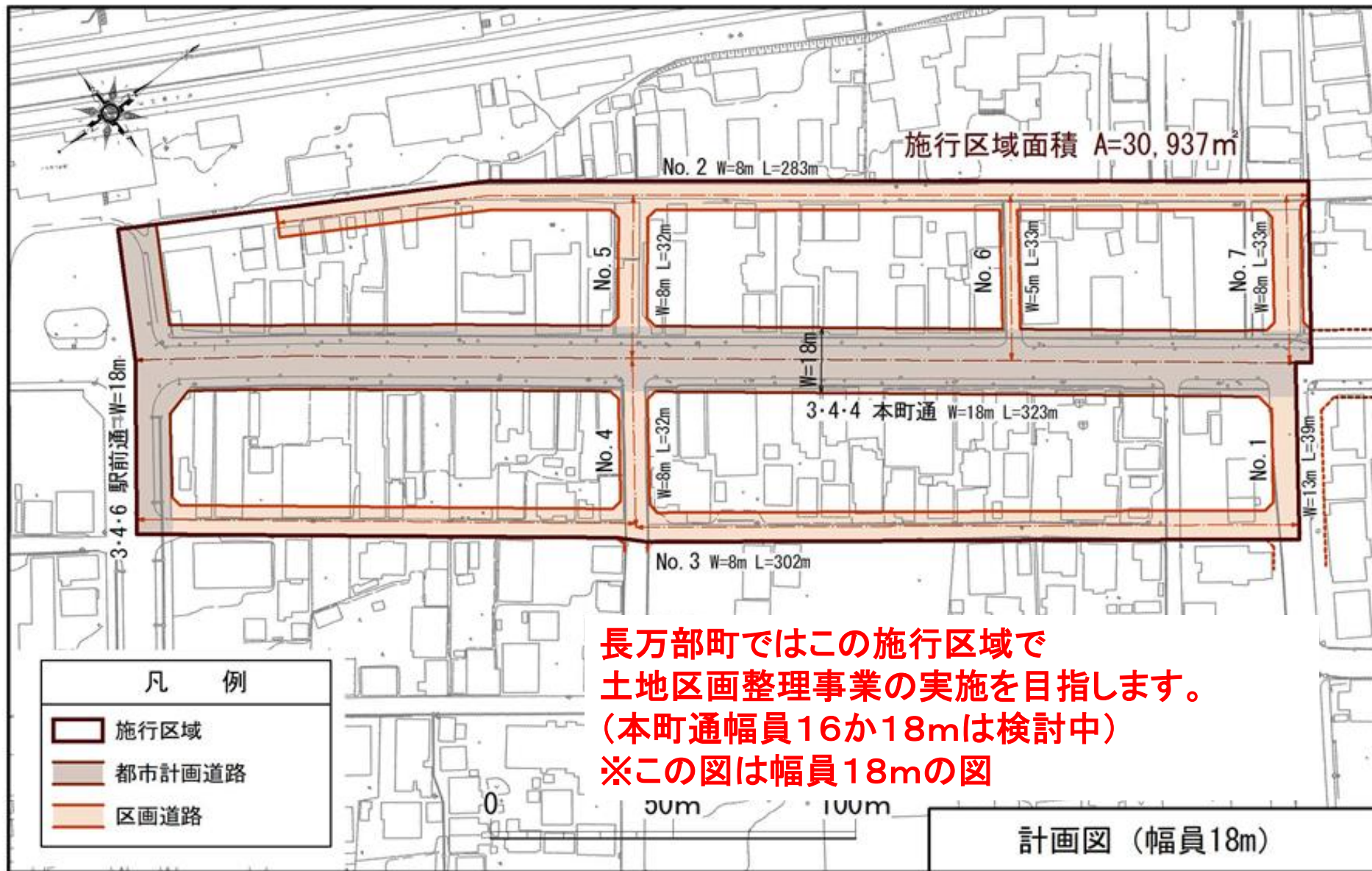




※津波避難施設として、商業複合施設2階に
自走式立体駐車場を想定、自由通路と接続します。

※2階、3階で自由通路と接続します。
(2階以上は想定津波浸水高以上に設計)

土地区画整理事業 基本計画(概要)①



独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

北海道新幹線建設局長 竹津 英二 様

北海道新幹線長万部駅舎デザインに関する

要 望 書 (写)

令和 4 年 3 月

北海道長万部町

令和 12 年度末開業に向けた北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）整備推進につきまして、日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、古くから道南と道央を結ぶ交通の要衝として発展してきた当町にとって、今後、北海道新幹線長万部駅の開業により、北海道の重要な交通拠点としての役割が、より一層期待されております。

当町としては、町民・地元企業・行政が協働して駅周辺のまちづくりを推進するため、平成 28 年度に地域の産学官金で構成する「長万部まちづくり推進会議」を設置し、新幹線駅開業に向けた様々な取組を検討し、実行しているところです。

新たに建設される新幹線駅舎につきましては、地域の象徴として末永く親しまれる施設となるように、長万部高等学校生徒 7 名と長万部まちづくり推進会議委員で構成した「新幹線駅デザイン検討委員会」を設置し、議論を重ねてまいりました。

検討委員会では、当町の特徴を捉えた、様々な視点からの意見を長時間掛けて丁寧に集約し、この度その成果を取りまとめました。

つきましては、今後の駅舎建設にあたり新幹線駅に寄せる地域の期待をご理解いただき、要望する駅舎デザインコンセプト及び附帯意見につきまして、最大限反映していただきますよう特段のご配慮をお願いします。

長万部町長 木 幡 正 志

北海道新幹線長万部駅舎デザインコンセプト

「湯けむり香る噴火湾、人と時代の交差点」

羊蹄山や駒ヶ岳を背景に内浦湾を一望することができる当町では、町民は一般的に内浦湾を「噴火湾」と呼び親しんでいることや、市街地に温泉がある街でもあるということを、「湯けむり香る噴火湾」という言葉で表現しました。

さらに、「人と時代の交差点」という言葉には、長万部が古くから鉄道の要衝であったことと、これから新幹線駅となって、ますます交通拠点として繁栄することを期待する思いが込められています。



附帯意見

北海道新幹線長万部駅舎に関する附帯意見について、次に掲げる3つのテーマに基づき要望します。

テーマ1 ～汽笛が響く日だまりの温泉駅～

古き良き長万部を通過する汽車が、乗客が「かにめし」の原点である毛がにを頬張る姿を背景に、汽笛を鳴らす様子を想い起こす、鉄道のまちとして歩んできた長万部の歴史を感じさせる駅を目指しています。



テーマ2 ～開放感あふれる次世代に繋がる駅～

当町が有する雄大な自然環境を、次世代まで繋げていくため、昔からある道南産木材やガラスの活用、噴火湾を眺望できる展望台の設置を踏まえた、開放感のある駅を目指しています。



テーマ3～みんなまんべでぽっかぽか、緑いっぱい北の温泉駅～

長万部駅は、昔から緑環境が良好で温泉が近傍にある駅であることを踏まえ、新幹線駅舎から「長万部」という自然が豊かな故郷を思い出してほしいと思いを込めて、心が温まる駅を目指しています。



附帯意見（共通）

- 1 開放感のあるガラス張りの駅造り
- 2 噴火湾を望む誰もが楽しめる展望台の設置を考慮したデザイン
- 3 天井を透明にし、太陽光が注がれるようにする
- 4 温泉の温かみを感じられるような落ち着いた色調を使った駅舎
- 5 落ち着いた色味の地域の木材を活用した開放感のある駅
- 6 長万部町にマッチした木々に囲まれたデザインの駅舎
- 7 AI、IoTの積極的導入による利便性の追求
- 8 バリアフリーを強化したユニバーサルデザイン駅
- 9 インバウンドを意識したプラットフォーム作り
- 10 誰もが共生できるダイバーシティ駅



テーマ1 独自の附帯意見

- 1 北海道の自然をイメージしたレトロな外観
- 2 古き良き長万部町の歴史を感じさせる雰囲気駅の駅舎

テーマ2 独自の附帯意見

- 1 サスティナブルな駅舎の構築
- 2 ガラス張りの中に道南の木材を活用した駅の作り

テーマ3 独自の附帯意見

- 1 懐かしさを感じる景色を強調させた駅舎デザイン
- 2 温泉をイメージした温かな落ち着いた雰囲気駅の駅舎



(参考資料) 長万部町新幹線駅デザイン検討委員会の取り組み

■概要

長万部町では、鉄道・運輸機構の依頼により、北海道新幹線長万部駅舎のデザインコンセプトをまとめるため、長万部まちづくり推進会議委員を構成員として新幹線駅デザイン検討委員会を設置し、3回の検討委員会と研修会を実施しました。

検討委員会では、道立長万部高等学校の生徒から委員を公募し、現役高校生7名を委嘱。会議運営等の中心を、高校生委員が担いました。

■検討委員会の実施（3回）

検討委員会委員は33名、内7名が長万部高校生となっています。検討委員会設置時に、校長から、今まで実施されてきたまちづくり推進会議の議論を丁寧に取り、町民の方々と共に意見をまとめていきたいという提案を受け、ワールドカフェ（ワークショップ）方式の会議を実施しました。本委員会の委員長は高校生が担うこととし、生徒側が会議運営や意見集約を行い、町は事務局としてその支援を行いました。



検討委員会の様子

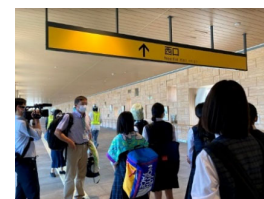
さらに、高校側では生徒と校長による自主的な会議が、夏休みを除いて毎週実施されており、検討委員会の意見を取りこぼさないようにと真剣に議論に取り組んでいただきました。

本取り組みに対しての町民の注目も強く、会議終了ごとに進捗報告のパネル展を図書館（学習文化センター内）で行うことで、町民に開かれた情報発信にも努めました。

■新青森駅舎等視察研修会の実施

第一回検討委員会終了後、町では高校生委員7名を引率し、研修会を実施しました。長万部駅舎は在来線の乗換駅になること等から、同じ特徴を持つ新青森駅舎の視察を行いました。また、県立青森西高等学校の「おもてなし部」と共同で、新幹線駅周辺地域の活性化のために様々なイベントを仕掛けている青森大学・櫛引教授（地理学、社会学が専門）に現地解説の講師をお願いし、公共交通を利用しながら市内のご案内をいただきました。

櫛引教授のはからいで、視察団が新青森駅に戻るタイミングに合わせて「おもてなし部」の高校生が駅改札前に集合し、サプライズで送別式を行ってくれました。駅舎の観察や乗り



換えの体験、駅周辺に住む同世代との交流が、高校生委員の意欲向上につながり、その後の会議での活発な意見交換につながりました。

青森大学櫛引教授（左・2人目）の案内 青森西高の生徒の送別式

■実施内容

令和3年5月7日 新幹線駅デザインコンセプト作成依頼書手交式

6月2日～6月18日 新幹線駅デザイン検討委員会委員の公募
（長万部高校生対象）

7月16日 第一回新幹線駅デザイン検討委員会

7月19日 新青森駅舎等視察研修会

8月24日～9月8日 進捗報告パネル展（会場：学習文化センター）

9月28日 第二回新幹線駅デザイン検討委員会

12月1日～15日 第二回進捗報告パネル展（会場：学習文化センター）

12月20日 第三回新幹線駅デザイン検討委員会

令和4年1月31日 デザインコンセプトの決定案について答申書手交式
（高校生委員（委員長含む）から長万部町長へ）



新幹線駅デザインコンセプト作成依頼書手交式

鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局竹津局
長（左）から長万部町木幡町長（右）へ



進捗報告パネル展の様子
会場：学習文化センター



新幹線駅デザインコンセプト検討委員会